

大島の歩き方

大島は湍津姫神を祀る神社・中津宮のある島です。大島は、神聖な沖ノ島に最も近く交通の便の良い島として、沖ノ島(とそこで祀られている神・田心姫神)を遥拝するための神社・沖津宮遥拝所があります。

漁村での生活

訪問者は島内を散策することで、宗像地方の信仰の歴史を知ることができ、小さな漁村の生活を体験する機会も得られます。フェリーターミナル近くにある、その日の水揚げを提供している漁協から、地元の祭りや島民と沖ノ島との深い歴史のつながりを展示している大島交流館まで、訪問者は地元の人々が海に対して抱いている深い敬意をすぐに感じることができます。

音声ツアー

各自で回れる島内のツアーとしては、訪問者は大島フェリーターミナルでオーディオ機器を借りることができ、**GPS** を使用して旅行中に興味深い情報を伝えてくれます。フェリーターミナルの近くにはいくつかの見どころがあり、他の場所を訪れことが出来る様にも定期バスが島内を一周するように走っています。

感動的な小島

夢の小夜島は赤い鳥居で縁取られた湾に浮かぶ小さな島で、干潮時には歩いて行けます。室町時代(**1136-1573** 年)には、歌人・宗祇(**1421-1502** 年)が宗像を訪れ、この風光明媚な小島を詠みました。

さらに遠く

第二次世界大戦中に島の北側に築かれた砲台の遺跡では、より最近の歴史が映し出されています。最も異色の遺跡の一つは、「ヨハンの洞窟」としても知られる三浦洞窟です。大島灯台からさほど遠くなく、**1614** 年にキリスト教が禁止された後、長崎から逃れてきたカトリック司祭・ヨハン神父の隠れ家でした。九州オルレ・ハイキングコースの一部である遊歩道は島の内陸部を横断し、見どころのほとんどを網羅しています。遊歩道は分かりやすく印付けられており、特別な装備のない中級者のトレッキングに適しています。